

並松地区における景観づくり

令和2年11月18日
近畿地方整備局
福知山河川国道事務所

1. 景観整備コンセプト
2. 堤防整備イメージ

前回までの検討会で頂いたご意見およびヒアリング結果に基づき、下記整備コンセプトを設定した。

◆ 趣きがある並松の風景を継承する

- 地名の由来となった松並木の再生、または現在の並松を代表する風景である桜並木の再整備を実施の可否も含め検討する

◆ 河川利用に配慮した施設計画

- 散歩利用者が快適・安全に通行できる河川空間を目指した動線を検討する
- 現状の河川利用を踏まえた親水性を有する水辺空間を検討する

◆ 並松・味方地区からの眺望を考慮した計画

- 対岸(味方地区)、綾部大橋を含む視点場からの眺望を踏まえた工法を検討する
- 府道広野綾部線を通過する利用者、及び運転者からの視点も踏まえ、構造を検討する



桜と綾部大橋



松並木と並松地区



水無月祭での花火



水無月祭での万灯流し



川施餓鬼(毎年8月実施)

<整備コンセプト> (青字: 景観検討に関連するポイント)

① 趣きがある並松の風景を継承する

- 地名の由来となった松並木の再生、または現在の並松を代表する風景である桜並木の再整備を実施の可否も含め検討する

② 河川利用に配慮した施設計画

- 散歩利用者が快適・安全に通行できる河川空間を目指した動線を検討する
- 現状の河川利用を踏まえた親水性を有する水辺空間を検討する

③ 並松・味方地区からの眺望を考慮した計画

- 対岸(味方地区)、綾部大橋を含む視点場からの眺望を踏まえた工法を検討する
- 府道広野綾部線を通過する利用者、及び運転者からの視点も踏まえ、構造を検討する



趣のある風景の継承



対岸(味方地区)からの眺望



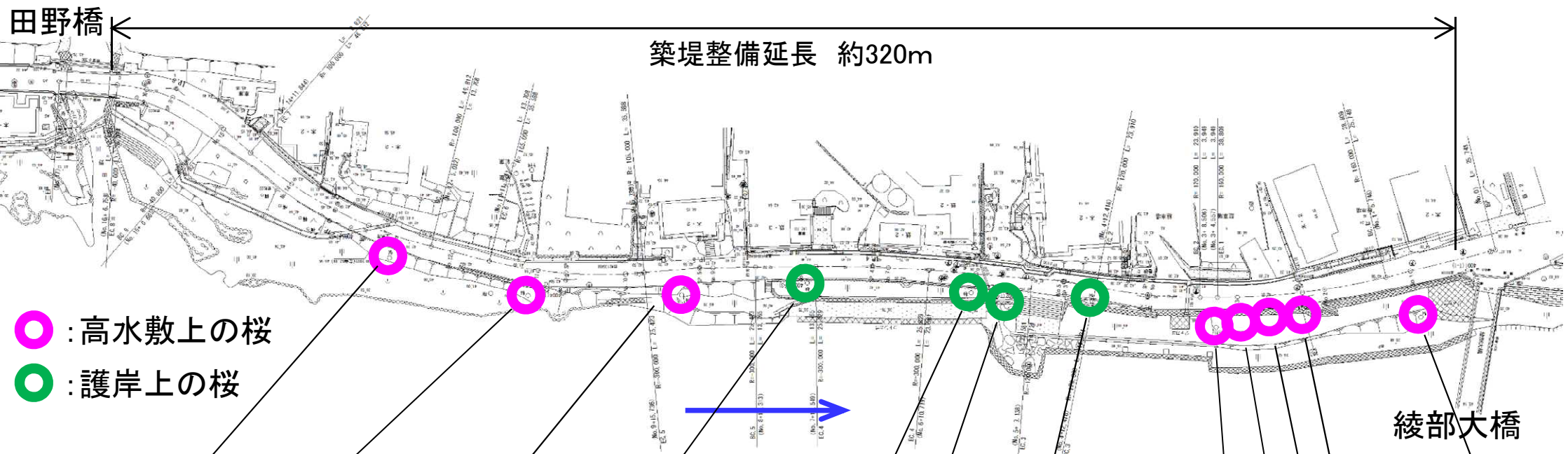
綾部大橋上からの眺望

<景観整備コンセプトを反映>

「景観検討の方向性」を明確にし、優先度の高いものを中心に形状を検討する

桜並木の現状

- 現状、12本の桜(高水敷上に8本、護岸上に4本)がある。
- 大きなものは幹割れ、枝枯死など状況は悪い。



平成31年4月7日撮影

◆ 趣きがある並松の風景を継承する

- 地名の由来となった松並木の再生、または現在の並松を代表する風景である桜並木の再整備を実施の可否も含め検討する



並松地区の意見を踏まえ、松並木、桜並木の植樹範囲を設定



松を植樹

桜を植樹

◆ 河川利用に配慮した施設計画

- ・ 散歩利用者が快適・安全に通行できる河川空間を目指した動線を検討する
- ・ 現状の河川利用を踏まえた親水性を有する水辺空間を検討する



散歩利用者による河川利用を踏まえ、遊歩道を整備



<自然石風のブロック積み護岸>

由良川河道より上流左岸(松並木範囲)を望むイメージ



由良川河道より下流左岸(桜並木範囲)を望むイメージ

◆ 並松・味方地区からの眺望を考慮した計画

- 対岸(味方地区)、綾部大橋を含む視点場からの眺望を踏まえた工法を検討する
- 府道広野綾部線を通過する利用者、及び運転者からの視点も踏まえ、構造を検討する



様々な視点場からの眺望を踏まえ、
護岸の工法、特殊堤防の構造や舗装等
の仕上げを設定



<木目調の表面仕上げ>



<自然石風のブロック積み護岸>

綾部大橋、護岸を望むイメージ



<歩道部は、自然石風のブロック舗装>

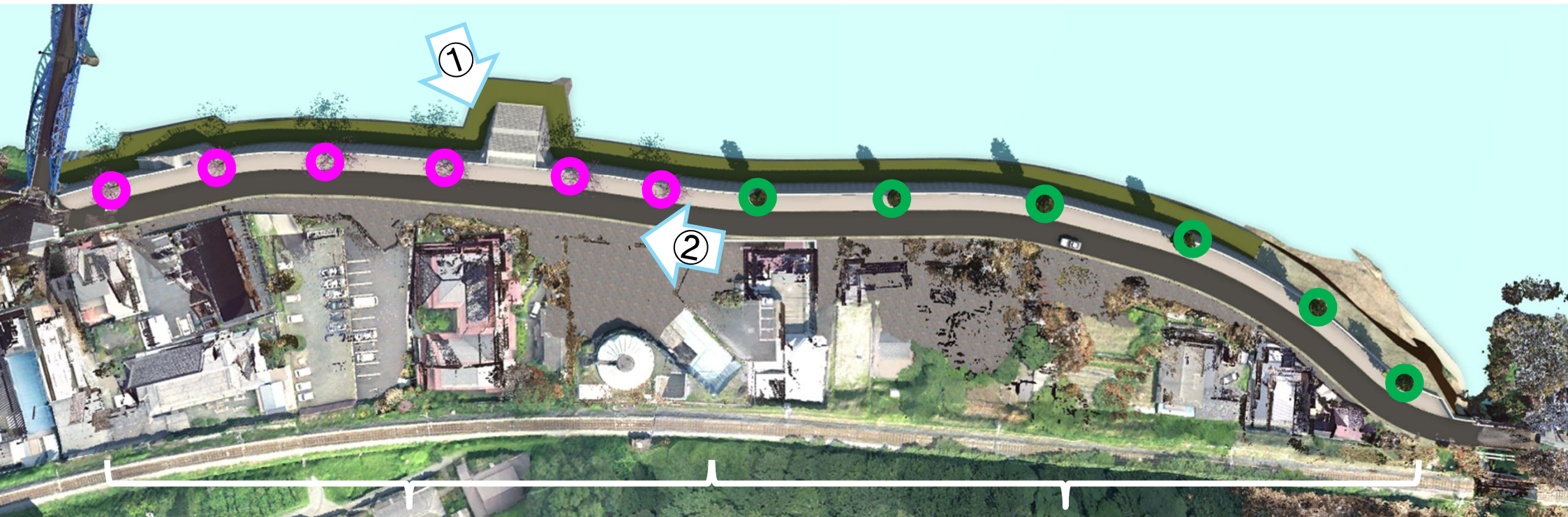
府道広野綾部線(歩道含む)の整備イメージ



①由良川河道上空より階段を望むイメージ



②歩道利用者の視点イメージ



桜を植樹

松を植樹